

《 国体選手・監督選考基準内規 》

【成年男女】

千葉県バドミントン協会 競技力向上委員会

1. 試合方法
 - (1) 試合はダブルス・シングルスを行う。
 - (2) 1種目だけの出場もでき、成績により選手選考の対象にもなりうる。
 - (3) 各試合とも決勝まで行うが、3位決定戦は行わない。
2. 選手選考基準
 - (1) それぞれの試合の上位入賞者の中から選考する。
 - (2) 下記の条件に該当する選手については別途考慮する。
 - (ア) 日本代表として国際大会などに派遣され、県予選会に出場することができない選手については選考の対象とする。
 - (イ) 国際大会・日本代表選手強化合宿・日本ランキングサーキット大会などに出場し、負傷をした選手については当該選手よりの申請により競技力向上委員会が認定した場合にのみ選考の対象とする。
 - (3) (2)に該当する選手は、後日(1)の選手を含め選考試合を行う。

【少年男女】

1. 試合方法
 - (1) シングルス戦で行う。
 - (2) 試合は決勝戦まで行うが、3位決定戦は行わない。
2. 選手選考基準
 - (1) 大会の上位入賞者の中から選考する。
 - (2) 原則的にシングルス能力を重視し、個人のダブルス能力をも選考の対象にする。
 - (3) オープン種別については本大会のベスト8の中から4～6名の候補者を選考し、その後の強化練習会を経て3名に絞る。(8月中)
3. 選手選考会参加資格
 - (1) 全国高校総合体育大会県予選ダブルス ベスト4の8名。
 - (2) 全国高校総合体育大会県予選シングルス ベスト8の8名。
 - (3) 県協会強化指定選手
 - (4) 県協会推薦者
 - (5) 一般参加者希望者(積極的なPRはしないが参加は妨げない)

【監督選考基準】

- (1) 原則として、競技力向上委員会の各担当種別委員の中より選出する。
- (2) 選手の所属するチームの監督、選手が所属していたチームの指導者も選考の対象になることが出来る。

※国体バドミントン競技実施要項より
監督は(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認バドミントンコーチ1、公認バドミントンコーチ2、公認バドミントンコーチ3、公認バドミントンコーチ4の有資格者であること。

【選手・監督選考会議】

- (1) 県民第二部最終日試合終了後に行う。
- (2) 競技力向上委員会・各種別担当者において予備会議(原案作成)を行う。
- (3) 競技力向上委員会で上記の案を検討し決定する。
- (4) 理事会に具申し承認を得る。